

人と森が仲良くなって、すてきな未来につながってゆく。

# mamori

ま も り

Spring 2009 [vol.004]

## 特集

### 森のチカラが子どもを育てる！ 高知、もりのようちえん

香南市「高知県立月見山こどもの森」へ  
親子で遊ぼう、緑の遊び場

県内7施設、お得なクーポン付  
家族で楽しめる、高知・山の施設

読者からの声が響きます  
しんりんVOICE

さあ、出かけよう。緑のPlazaへ  
イベントニュースは風に乗って

木のぬくもりをプレゼント  
森からの贈り物

スローライフと子どものおもちゃ  
木のある暮らし

野根山街道を歩く  
緑の中のシエスタ

Siesta in the forest.

# 緑の中の シエスタ



## 千年以上も前から交通の要所だった古道を歩く。

野根山街道は奈半利町から野根山連山を尾根伝いに東洋町野根まで、自然の中を歩き親しむ約三十五kmの自然歩道。その歴史は古く、国司や流人の移動などで整備され、約千二百年以上前から利用されていたといわれる。藩政時代には参勤交代、中岡慎太郎など幕末の志士たちの脱藩の道として知られ、その時代の史跡が点在し、歴史的、文化的遺跡をつなぐ古道でもある。

それだけに見どころも多く、旅人の道標となった里塚や、惜しくも台風で倒壊したが、樹齢千年以上で今も根元の空洞で寝泊まりできる宿屋杉、参勤交代の昔をしのぶ朝休み場や閑所跡などがある。そして、旧藩林や天然林など自然に富んでいる。

写真は米ヶ岡登山口から数十分歩いた場所。どの場所も道沿いに巨木があり、落ち葉のじゅうたんがクッションがわりでふわふわと、まるで緑の中を泳いでいる感じ。ところどころに差し込む太陽の光が気持ち良い。

シーズンにはハイキングを楽しむ家族や団体が賑わう。米ヶ岡には小学校跡地を改装した宿泊施設「米ヶ岡生活体験学校」があり、自然の中、昔ながらの生活が体験できる。

問い合わせ／奈半利町地域振興課 (Tel.0887・38・8182) 東洋町産業建設課 (Tel.0887・29・3395)



人と森が仲良くなって、すてきな未来につながってゆく。

mamori  
ま も り

高知県森林部森林政策課  
〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号  
Tel.088・821・4586 Fax.088・821・4576  
E-Mail.030101@ken.pref.kochi.lg.jp  
http://www.pref.kochi.jp/seisaku/seisaku

生き生きこうちの森～デジ森ドットコム～  
こうちの森や山に関する情報をいち早く知りたいという方、  
イベントや体験などの話題を紹介しています。  
http://www.digi-mori.com

森林環境税は、県民みんなが負担することで森とのかかわりを認識し、森を守っていかうという森林保全を目的とする高知県独自の税制度です。県民税に年額500円を上乗せするもので、個人、法人ともにご負担いただいています。

発行日/2009年3月 制作・編集/クリケット「季刊高知」編集部 with ゴーゴデザイン 門田幹也

この冊子は再生紙を使用し、大豆油インクで印刷しています。





すすすくの森で変わっていく子ども、森のチカラってすごいんです。

聞いています。途中で「一度集まって」「森の音」を聞きます。虫の音はあるのか、鳥の鳴き声がどこからするか、違う種類の鳥はいるのか、音を探すと子どもたちの表情は喜々としています。この時は誰も音をたてません。風の音、木が揺れる音、鳥の音…森の世界がありました。

それからは学年によって水遊びの沢や冒険の森などへ移動します。この移動中も春を告げる梅のつぼみを観察したり、松ぼっくりなど木の実を拾ったり、落ち葉を投げ合って遊んだりと忙しい子どもたち。一部腐葉土になっている場所があり、足で踏むとふわふわ。子どもが「なんかじゅうたんよりすこい。どうしてこんなにふわふわしゅうがやるの？」と、発見したことを先生に質問していました。「冒険の森」では大人もちょっとハードな岩登りがあり、スイスイと行ける子ども、先生のサポートが出来る子どもなどそれぞれですが、岩登りができたという達成感、満足感、自信になるでしょう。てべんからは高知市内が望み、その高さに驚きます。



先生らしさを消して子どもを見守っています。

高知市若草南町にある「若草幼稚園」では平成元年に自園で近くの森を購入、二年近くかけて整備しながら、子どもたちを森へ連れて行き体験させています。その名も「すすすくの森」。今では週に一度のペースで、学年やクラスの組み合わせを変えながら、大雨が降らない限り森に行きます。岡林道生園長は引率する先生たちに普段から伝えていることがあります。

「子どもには遊ぶ力や危険予知能力があるので、険しい道を通る時も子ども本人にコースを決めさせています。いかに子どもの動きに我慢ができるか、先生らしさを消せるかなんです。でも肝心な所には必ずいるようにしています。さつき岩から降りれない子がいましたが、その時は援助してやらないといけません。いかに子どもに手をたさないで見守れるか、と普段から話しています」

森の中には多くの種類の木や草花があり、多くの種類の虫や鳥、動物がいます。木の実を集め、虫を捕まえ、生命の息吹や恵みを体感する子どもたちは「あそび」ながらそれを学びます。そして、発見を繰り返します。その経験を積み重ねることで、子どもたちは助け合いながら、共に生きる力やたくましさを育んでいくと岡林園長は話します。

**幼児期は身体にしみ込んでいく一番大切な時期です。**

当日は年少さんの保護者の方もすすすくの森に来て、子どもたちの様子を見守りました。



もりのようちえん

北欧で発祥した「もりのようちえん」は、日本でも幼児期の自然体験活動が心身の発達に良い影響をあたえるといわれ、そのスタイルは保育者や野外活動指導者により広まりつつあります。



自然と関わって遊ぶことが大切だという若草幼稚園の岡林道生園長。

そのお母さんは「とても嬉しいのが、モノを大事にするようになったことです。虫を捕まえても殺さないし、幼稚園で野菜づくりの手伝いをしてるせいか、残さないで食べますね」と、半年で子どもが変わったことを実感しています。

二人の先生にもそれぞれ話を聞きました。

「子どもは転んだり、葉っぱで手を切ったりと擦り傷はたくさん作りますが、大きなケガはないですね。子どもたちから状況を教えてもらうこともあって例えば誰かが転んで泣いているとか、ここに入ったらいかに子ども同士で注意していたと報告がきたり(笑)これは園内では体験できないことだと思います」

「森の中で木の実を集めたり、食べたります。それで子どもたちに興味や好奇心が生まれるので、どんぐり一つとってもどの種類なのか園で調べて、次に森で探そうとします。森は平坦な場所が少ないですが、はじめは斜面を自由に歩けない年少さんも、次第に足腰が強くなつて歩けるようになってきました」

岡林園長は、すすすくの森での体験や健康に良い食事など「幼児期は身体にしみ込んでいく一番大切な時期だからこそ、五感を通して遊び学んでほしい」といいます。「森の力ってすごい」という二人の先生の言葉が、とても実感できました。

特集 森のチカラが子どもを育てる!  
高知、もりのようちえん

高知市内にある若草幼稚園では 約二十年前から自園で森をもち、子どもたちが元気に走り回っています。



「観察の森」に着くと、子どもたちは大喜びで森を走り回ります。岩に登っては飛び降りる子ども、ドングリを拾い集める子ども、とにかくじっとしている子どももいません。帽子によって学年の違いが区別できますが、色は混じり合っ

先生の話をじっと聞く姿は とても集中力がありません。

「寒くてもポケットには手をいれませんが、転んだときに両手を使わないと大げかになります」

「赤いボンのある木にはさわってはいけません。手がかゆくなります」

「草木や動物など生命を大切にしましょう」

「必ず先生が見える範囲で行動して下さい」

すすすくの森へ入る前、先生は「森の中の約束ごと」を子どもたちに話します。子どもたちは前を向き、それを聞き、最後に一緒に復唱します。約二十分、皆は先生の話を集中して聞いていました。

それから歩いて出発！「すく」「ピオトープ池」があります。当日は水が張っており、先生が子どもたちに取ってあげると大喜び。池に氷を投げたり、友だちと寒い！と言いつつあいながら押しついたりして笑い声が聞こえます。

森への道は大人が歩いてもくっついて楽ではない、普通の山道です。それでも先生方は危険なポイント以外は手を出しません。ゆつくり時間をかけて下る場所でも、子どもが立ち往生するまであたたかい目で見守っています。自分の力で乗り切るように。



若草幼稚園は森林環境税の「木づかい促進事業」(購入費の1/2以内の支援)を活用して、園で使う木の遊具やブランコを購入しました。



「すすすくの森」にはサクラやどんぐりの木など355種の植物と、トンボやバッタなどの昆虫類125種、鳥類33種、ヘビやイモリ、タヌキなど爬虫類・両生類・哺乳類などが棲息しています。子どもたちは豊かな森の中で感性を育み、たくましく育っています。すすすくの森についてはHPを参考して下さい。http://www.pikara.ne.jp/s18418/ 取材協力/若草幼稚園 TEL/088・844・0014



高知市鏡にあるかがみ幼稚園では、自然あふれる地域で、地区の方とも交流し、子どもたちが元気に走り回っています。

# 地域の自然と住民のチカラで、子どもたちは感性を伸ばします。

子どもの好奇心は次々と新しい発見を見つけます。

平成二十年十一月八日、高知市鏡吉原ふれあいの里で、「フォーラムもりのようちえん」(主催/社団法人高知県森と緑の会)が行なわれ、その実演として小雨の中を元気に遊んだのが「かがみ幼稚園」の子どもたちです。ふれあいの里にある小さい水路でサワガニを捕まえたり、木の実を集めたり、神社の建物の下まで潜り込んでアリジゴクを見つけて喜んだり、子どもの好奇心は新たな発見を次々としていきます。また、吉原地区のおじいさん先生、おばあちゃん先生から竹細工を習うなど、地域の協力もありました。後日、かがみ幼稚園の杉本縁園長に園が取り組んでいることを伺いました。

「この園は鏡地区のすべての地区から子どもたちが通うようになって、地区の方から「こども」の音が聞こえないので寂しい」という声がありました。それでスクールバスを使って吉原川で遊んだり、去坂へ梅を取りにいたり、今井の山の上にある神社を散策するなど、森の中ではありませんが、地域の自然と一緒になって子どもたちは遊び、体験しています。どの地区にもおじいさん先生、おばあさん先生が来てくれて交流してくれるのも嬉しいですね」

子どもたちは自然の中で何を学び、成長しているのだろうか。杉本園長は「心であり、感性です」といいます。

「成長の過程で子どもの感性はとても大切で、ずっと気づくこと、感じたことを口にすること、言葉の発達があります。自然の中を歩いたり山を登ることで足腰も強くなり、息の仕方が変わってきますし、危険なことは身でわかりだしますから、全身に良い影響がありますね。また自然を知るには、そこへ出かけないとわかりません。子どもたちは虫のこと、草花のこと、野菜のこと、小鳥のこと、なんでも興味を持ちます。その豊かな体験があるからこそ、自然に関する絵本を想像しながら読むのも、とても集中していますね」

## 高知県内に広がって欲しい「もりのようちえん」。

子どもたちが自然の中で、森の中で、五感を通して遊び学ぶことの大切さを、「二つの幼稚園で知りました。高知は山川、海が豊かである県です。特に県土の約八十四%が森林です。どの幼稚園も、保育所も自然の中で、森の中で遊ぶことは可能だと思います。その効果は抜群のようです。是非、高知県内に広がって欲しいものです。」

「森の幼稚園」は、1950年代半ばにデンマークで誕生、1993年にドイツで公認の森の幼稚園が誕生しています。近年は日本でも「森のようちえん」として普及しており、全国交流フォーラムも開催されています。乳幼児少年期(0歳から7歳頃まで)に、川、野山、里山、土手・畑・都市公園など自然の中での様々な遊びを通じて、豊かな感性と好奇心を育み、学ぶ力、生きる力の土台をつくることに有効です。森の教育力と人の教育力がうまく噛み合うことで、生まれつき持っている子どもたちの能力が引き出せるのでは?と思っています。

## 1 生きる力

自然を探検し、観察し、様々なことに会い、自然の神秘や美しさ、恐さ、感動など豊かな感性を育み、強めていくことで、苦難や心配事に会ったとしても、内面的な満足感と生きていることへの新たな喜びを見つけ出すことができます。



## 2 種子と土壌(土台づくり)

子どもたちが会おうことのひとつひとつが、やがて知識や知恵を生み出す種子だとしたら、様々な情緒や豊かな感性は種子を育む肥沃な土壌です。幼いこども時代はこの土壌を耕すときです。



## 4 体力、危険予知能力、コミュニケーション、連携・協力する力(土台づくり)

様々な地形や動植物などとの出会いがある自然の中で遊ぶには、体力、危険予知能力、助け合い支え合うためのコミュニケーション力や連携・協力する力が必要です。自然にこうした力が養われてきます。



## 6 後々の成長

ドイツ、ダルムシュタット教育大学のローランド・ゲオルゲス教授の調査結果

もりのようちえんを体験した子どもは、学校に入ってから学習面、社会行動、身体能力等様々な成長が良好だという結果が出ているとのこと。森(自然)の中で遊ぶことで培われた想像力、集中力、我慢強さ、精神と体力のバランス、社会性などが、子どもの後々の成長にとって大切であることが、この調査からも分かるのではないのでしょうか。



# 「もりのようちえん」子どもたちの可能性を伸ばす6つのエピソード

「もりのようちえん」で子どもたちは何を学び、成長していくのでしょうか。高知県内での普及に積極的に関わることしている(社)高知県森と緑の会の事務局長、横山信行さんに、わかりやすく紹介して頂きました。さあ、あなたも子どもと一緒に明日から森に入ってみませんか。

## 3 好奇心と知識と知恵(土台づくり)

美しいものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知のものに触れた感激、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などの様々な形の感情は、その対象となるものについてもっとよく知りたいという好奇心を育みます。その好奇心から学んだ知識は、体験と絡まりあって、知恵となります。

## 5 大人の役割

生まれつき備わっている子どもの感性を新鮮に保つためには、大人が傍にいて、喜び、感激、神秘などを子どもと一緒に再発見し、感動を分かち合うことが必要です。理解できない子どもにも事実をうのみにさせるよりも、子どもが知りたがるような道を切り開いてやるのが大切です。



取材協力/社団法人高知県森と緑の会  
TEL/0887-52-0072  
平成8年3月に設立された社団法人で、県内のみどりづくり、森を守る活動を行うとともに、森林ボランティア団体の支援活動などを行なっています。また、県から補助を受けて「こうち山の日推進事業」「山の一日先生派遣事業」を県内各団体から募集し、支援をしています。詳しくはHPを参考して下さい。 <http://www.morimidori.com/>



小さい水路にはサワガニや虫がたくさんいて、子どもたちは熱心に捕まえていました。



地域に行く時は一台のバスなので、年長さんが年少中さんのお世話をします。このコミュニケーションが大切だというのがかがみ幼稚園の杉本縁園長。



NPOねおすの宮本さんと、かがみ幼稚園の子どもたちは雨でもへっちゃらでした。



地元である鏡吉原の人も協力してくれ、一緒に時間を過ごしました。



「フォーラムもりのようちえん」では講師として北海道のNPOねおす、宮本英樹さんを講師に招いて、フィールドを使って子どもの遊ばせ方の実演、指導をもらいました。かがみ幼稚園の子どもたちも元気いっぱいでした。取材協力/高知市立かがみ幼稚園 TEL/088-896-2944



親子で歩ける森を身近な遊び場に。中森道雄さんが月見山こどもの森をご案内。



# 水の森のび場



もうすぐ暖かい春、花々のキレイな季節になります。自然の中には、驚きや感動がいっぱいあります。それを見つけに、親子で散策しませんか。今回は香南市「県立月見山こどもの森」です。

## つどいの森展望台

グリーンアドベンチャーに夢中になりながら登っていくと、つどいの森展望台へ。手結漁港、ヤ・シィパーク、太平洋と、四国の山々が一望出来ます。



## ツリーハウス

ツリーハウスやブランコ、ロープ渡りなど、わんぱくの森は子どもたちと遊びながら、自然から学び、心を育ててくれます。



## 土佐じまん

木製遊具が25基あるフィールドアスレチックコース「土佐じまん」。一周まわると大人はハトハトでも子どもは元気です。遊具それぞれに土佐にまつわる名前がついているのが微笑ましいね。



## すべり山でザザァ～

その名の通り、子どもたちが段ボールを敷き、すべり楽しむ冒険の場所。桜の名所である月見山は、朝夕に散歩する方も多く、すべり山が散歩コースの目安になっています。

## 子どもアート

外で思いっきり遊んだ後は「こどもの森ハウス」でクラフトづくり体験をどうぞ。どろどろで作る万年暦や、インカ帝国の楽器「レインスティック」づくりなど、ワクワクする時間です。



## グリーンアドベンチャー

月見山にはたくさんの木があり、観察と学びが楽しみながら出来ます。木にはこんなサインも出ています。あなたは何を想像しますか。



**案内人**  
中森道雄さん  
元高知営林局の職員として、四国の山々を登り知り尽くしている森や木の達人。六年前から高知県立月見山こどもの森の管理を担当しています。

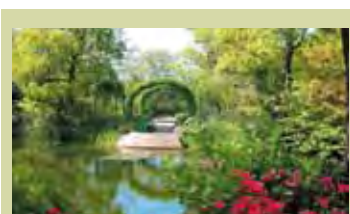
☎ 高知県立月見山こどもの森  
☎ 香南市香我美町岸本1269-7  
☎ 0887・55・1682  
🕒 8:30～17:15  
📅 12月29日～1月3日  
🌐 <http://www13.ocn.ne.jp/~tukimi-y/>

高知市より車で約40分。  
ごめんなはり線香我美駅より徒歩約20分。  
月見山バス停より徒歩約15分。

月見山こどもの森へようこそ。私が案内人の中森道雄です。ここは昭和五十五年に「国際児童年」を記念し開園した施設ですが、それ以来よく、幼稚園・保育所、小学生が遊びに来てくれます。子どもたちの元気な声が響くアスレチックコース「土佐じまん」は全部で二十五基あります。それぞれに高知ゆかりのネーミングにしていますので、カタチと名前を覚えておけば、一周、三周とする子どもばかりですね。木の勉強に遊び心を加えたのがグリーンアドベンチャーコース。親子で散歩がてら木の名前を当ててください。他にも月見山には子どもたちの基地になるツリーハウスやロープ渡りなど、ワクワクする仕掛けがたくさんあります。外で思いっきり遊んだ後は、どんぐりや松の実など森の恵みを使ってクラフトづくり。見本だけ用意すれば、子どもたちは創造してどんどん作っていきます。まっぼつくりをばらして魚のうろこにするなんて、子どもの才能はスゴイ！時間があれば環境のお話もしていますので、まあ、気軽に訪ねて来て下さい。

# 家族で楽しめる高知・山の施設

笑顔とふれあいと癒しを求めて、次の休日に山の施設で遊びませんか。



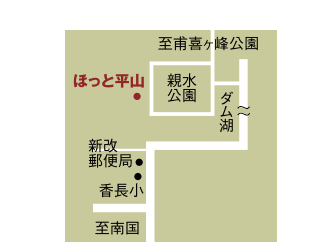
**北川村モネの庭マルモッソ**  
フランスの画家モネが愛した庭を、高知の自然の中で再現した「モネの庭」。光・花・水、それぞれのテーマにあわせた3つの庭に、シヨブやレストラン、木製の遊具などがある「遊びの森」や遊歩道など、四季折々の自然を感じながら過ごせる施設だ。

【特典】入園料を10%OFF  
🕒 10:00～17:00  
🎫 700円  
📅 3/1～8/31 無休 9/1～火曜  
📅 年末年始・冬季メンテナンス休園有  
📍 安芸郡北川村野友甲1100  
☎ 0887・32・1233  
🌐 <http://www.kitagawamura.net/monet/>



**ほっと平山**  
自然あふれる静かな山里のダム湖畔にある小学校を改装した地域の交流館。木造の校舎を活かした、木のぬくもりを感じるくつろぎの宿になっており、会議室や自炊室もある。地元の方が心がほっと落ち着くおもてなしで迎えてくれる。桜の名所でもある。

【特典】3名様以上宿泊料金10%OFF  
🕒 8:30～17:00  
🎫 (素泊まり) 大人3,000円  
1泊2食付大人5,500円(小人割引あり)  
🕒 イン15:00 アウト10:00  
📅 水曜(火曜の宿泊は受入)  
📍 香美市土佐山田町平山459  
☎ 0887・53・2076  
🌐 <http://www2.ocn.ne.jp/~hirayama/>



**ゆとりすとパーク**  
標高750mの高原に広がる花と緑の公園。素晴らしい眺望が望める広々とした園内には多数の植物が植栽、自生しており、噴水や温室もある。また、ミニ鉄道や遊具、レストランやショップ、コテージやキャンプ場もあり、大人から子どもまで楽しめる施設だ。

【特典】入園料金20%OFF  
🕒 10:00～17:00  
🎫 大人500円 中学生300円 小学生100円  
📅 4月～11月 無休 12月～3月 火・水曜  
📍 長岡郡大豊町中村大4037-25  
☎ 0887・72・0700  
🌐 <http://yuto.yu-yake.com/>



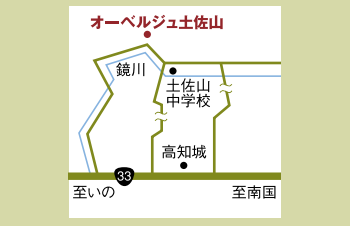
**星羅四万十**  
四万十川を望む高台に位置する「星羅四万十」。川を眺めるレストランや客室、温泉などロケーションの良さはもちろん「星空の街」に認定された西土佐の満点の星空など、山川空の自然の瞬きを堪能できる。レストランでは四万十の地産の幸が味わえる。

【特典】室料の10%OFF  
📅 温泉入浴 / (平日) 16:00～22:00 (土日祝は11:00～14:00も入浴可)  
レストラン利用 / 8:00～21:00 (ティertime含む)  
🎫 入浴 / 大人800円、小人400円  
📅 宿泊 / 一泊二食付10,700円～  
🕒 イン16:00 アウト10:00  
📅 無休 📍 四万十市西土佐用井1100  
☎ 0880・52・2225  
🌐 <http://www.seirashimanto.com/>



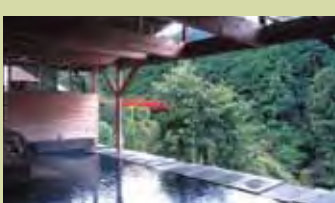
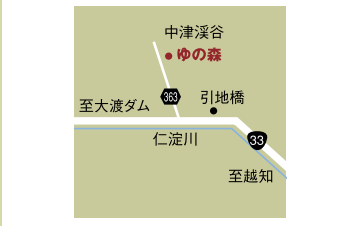
**オーベルジュ土佐山**  
時計もアレもいらぬ、ありのままの自然に身をゆだねて過ごす心地良さが県内外で高い評価を得ている宿。天然の温泉は日帰り入浴ができる、地元の食材をいかしたレストランやカウンター越しに川の流れを望むバーで、緑の中にくつろぎの時間を過ごしたい。

【特典】温泉の入浴料金100円OFF  
📅 温泉入浴 / 10:30～21:30  
レストラン / 11:00～14:00 バー / 9:00～24:00  
🎫 入浴 / 大人800円、小人400円  
📅 宿泊 / 一泊二食付16,950円  
🕒 イン15:00 アウト11:00  
📅 無休  
📍 高知市土佐山東川661  
☎ 088・850・6911  
🌐 <http://www.orienthotel.jp/tosayama/>



**中津渓谷 ゆの森**  
美しい自然に包まれた中津渓谷の玄関ともいえる場所にある「中津渓谷ゆの森」。地元産の木をふんだんに使った建物には森の香りが漂い、体の芯からあたたまる天然温泉とともに心身を癒してくれる。レストランもあり、日帰り、宿泊どちらも楽しめる。

【特典】入浴料金100円OFF  
📅 温泉入浴 / 11:00～21:00  
レストラン利用 / 11:00～14:00 15:30～20:00 (O.S)  
🎫 入浴 / 大人500円、小人300円  
📅 宿泊 / 一泊二食付11,000円～  
🕒 イン15:00 アウト10:00  
📅 火曜(祝日の場合は翌日)  
📍 香川郡仁淀川町名野川258-1  
☎ 0889・36・0680  
🌐 <http://www.yunomori.jp/>



**ホテル松葉川温泉**  
四万十川上流域の支流・日野地川の渓谷に建つ「ホテル松葉川温泉」は、豊かな自然に囲まれた名湯の宿。良質の温泉は露天風呂もあり、宿泊客や日帰りとも好評。春は桜の名所もあり、四季の自然が織りなす景色と、旬の味覚でもてなしてくれるホテルだ。

【特典】入浴料金100円OFF  
📅 温泉入浴 / 10:30～21:00  
レストラン利用 / 11:00～19:30  
🎫 入浴 / 大人500円、小人250円  
📅 宿泊 / 一泊二食付9,975円～  
🕒 イン15:00 アウト10:00  
📅 第三木曜(但し8月は第四木曜)  
📍 高岡郡四万十町日野地605-1  
☎ 0880・23・0611  
🌐 <http://www.matsubakawa.jp/>



**クーポン券** 有効期限 平成21年8月31日  
●クーポン券を切らぬし、本誌掲載施設で提示いただく各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて各一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

**クーポン券** 有効期限 平成21年8月31日  
●クーポン券を切らぬし、本誌掲載施設で提示いただく各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて各一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

**クーポン券** 有効期限 平成21年8月31日  
●クーポン券を切らぬし、本誌掲載施設で提示いただく各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて各一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

**クーポン券** 有効期限 平成21年8月31日  
●クーポン券を切らぬし、本誌掲載施設で提示いただく各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて各一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

**クーポン券** 有効期限 平成21年8月31日  
●クーポン券を切らぬし、本誌掲載施設で提示いただく各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて各一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

**クーポン券** 有効期限 平成21年8月31日  
●クーポン券を切らぬし、本誌掲載施設で提示いただく各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて各一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

**クーポン券** 有効期限 平成21年8月31日  
●クーポン券を切らぬし、本誌掲載施設で提示いただく各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて各一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

**クーポン券** 有効期限 平成21年8月31日  
●クーポン券を切らぬし、本誌掲載施設で提示いただく各指定のサービスを受けられます。  
●現金や他のサービス券と同時利用はできません。  
●クーポン券は各施設にて各一人様1枚のみご利用とさせていただきます。  
●時期や各施設の都合により相当のサービスをご提供できない場合も生じることがありますので、あらかじめご了承ください。



# しんりん 森林ボイス VOICE

「mamori」3号で約400通の投書を頂きました。その中には森林環境税や森林のこと、「mamori」の感想など、読者の皆さんの声をお届けします。



●今号のmamoriを中学生の長男もじっくり読んでいました。長男は祖父の山々を守っていたかなくてはと強く思っていた。高知の山、川、海の自然は我々の宝です。今できることを確実にやっつけていきたいと思いました。  
(高知市 41歳 女性)

●毎号mamoriを読んでいます。この本に会うまでは環境について深く考えていませんでしたが、この本を読み考えるようになりまし。いつまでも自然を大切にすることを忘れないようにしたいです。  
(高知市 30歳 女性)

●山と川と海つながり、あらためて考えさせられました。3つとも豊かにそろう高知県。まずは、山から手入れをしなければいけないのだなと思いました。  
(佐川町 56歳 女性)

●「山を元気にして川にきれいな水を流す」というシンプルなお話を子どもと一緒にワークシヨップなどに参加して学んでいきたいと思。思っています。  
(高知市 26歳 女性)

●「森林」のことについて、学校で子どもたちとともに学んでいます。学習の資料という観点からも、ぜひ、内容を考えていただきたいです。  
(四万十町 34歳 男性)

●高知の魅力は豊かな自然だと思。思。けれど忙しい現代、個人ではそれだけの管理も難しく、荒れているところが多いです。みんなの協力が必要だと思。思。心と心を和ませてくれるのも環境ですから、みんなで考え、とりくみたいですね。  
(黒潮町 41歳 女性)

●先日、四国カルストのセラピーロードに行きました。山は空気も水もきれいで、日頃のストレスもふっもとびます。暮らすのは難しいところですが、それだからこそ憧れもつります。私達の税もこつこの暮らしの根っこに役立つならば、それ以上に森林環境税を利用して守った自然を県内にアピールするだけでなく、県外客の誘致や、知産外消へつなげていくようになってほしいです。  
(高知市 26歳 女性)

●しんりんVOICEに投書していただいた山間部の限界集落に住んでいます。田や山を守っていくのは大変なことです。昔から残る土手や堤防の石垣、神社などを大事にしたいと思。思。県外の方が、私たちの集落をそのようになあたたい目で見て下さっていることに感激しました。  
(安芸市 48歳 女性)

●森林環境税は漠然と自然を守るために使われると思。思。ておりましたが、この本を読んで色んなグループが自然を守るために活動していることを知。知。る。る。ばらばらと思。思。いました。  
(愛媛県 53歳 女性)

●川や海の源となる山の守りは必要不可欠だと強く思。思。います。その為の税収は必要です。ただ、自分がいくら納

●税のくわしい結果報告をもっと目につけるように周知して欲しいと思。思。う。もって協力ができそうだし、利用などできそう。  
(高知市 80歳 男性)



●「mamori」では、皆さんから寄せられたご意見をもとに、森林環境税での取り組みの成果や課題、「こちの山の日」に関するイベントなど、森林の大切さや楽しさをお伝えしてまいりますので、引き続きご愛読をお願い致します。

●森林ボイスへのご意見にお答えします。  
(高知県森林政策課)

●「森林環境税への理解を深めるために、もっと森林環境税のことを載せて欲しい」というご意見を多く頂きました。「mamori」は、森林環境税の5年目の平成19年度に創刊しました。最初の1号2号では、森林環境税を活用した事業や取り組みを伝えることに重点をおき、緊急に整備が必要な森林の間伐や森林環境学習、木製品の導入など具体的な事業について紹介しました。20年度からの第2期森林環境税では、環境面での森林の果たす機能をより重視し、京都議定書の地球温暖化対策に貢献できるよう、成長が活発でCO2を吸収・固定する機能が大きい若い人工林の整備を集中的に進めるとともに、森林環境学習や森林保全ボランティア活動の支援など、県民の皆さんの活動がさらに活発化するよう引き続き支援させて頂くこととしていきます。今号の特集の「もりのようちえん」も、森林環境税で普及させていきたいと思。思。っている事業の一つです。2期目の取り組みは始まったばかりです。ので、現時点で具体的な成果を詳しくお伝えできません。そこで、前号と今号では、少し視点を変え、森林環境税の事業そのものではないですが、森林の大切さや県民の皆さんの取り組みなどを伝えることとしました。森林の環境を保全すること、川や海も守り、地域をも豊かにする。という森林環境税の目的をお伝えし、読者の皆さんに高知の森のサポーターになって頂きたいと思。思。いました。

## Topics 3

### 高知こども森林インストラクター養成講座募集

小学生を対象に約一年間、情報交流館(香美市土佐山田)や周辺の里山林を利用して、講座を行います。県内の森林インストラクターや森林ボランティアが講師になり、里山観察、木工、林業見学、キャンプなど、木や森林について遊んだり、学ぶ内容になっています。

- 募集期間/3月2日~5月8日
- 講習期間/5月~3月まで、月一回の予定
- 対象/小学4年~6年生
- 定員/20名
- 参加費/一年間で3,000円
- 問合せ/高知県森林総合センター 情報交流館
- TEL/0887・52・0087



## Topics 2

### 第7回高知県木の文化賞が決定しました

木の文化賞は、「人と木の共生」を基本理念とした木の文化県構想の推進、木の文化の向上に功績が顕著なものに対して贈られる賞で、平成12年に創設されました。木造建築物・木造建造物、木の文化のまち並み・生活のある風景、木の文化を実践している人の三つの部門があります。今回は、木造建築物・木造建造物の部で、四つの施設が表彰されました。

- 受賞施設/JA土佐れいほく本山支所(本山市)、道の駅「四万十とおわ」(四万十町)、すこやかな杜(高知市)、高知学芸高等学校体育館(高知市)



受賞施設の一つ、JA土佐れいほく本山支所。

## Topics 1

### 「四国山の日inこうち」が開催されました



森林に親しみ、理解を深めることを目的として、地域住民や森林ボランティア、四国四県と四国森林管理局が連携して「四国の森づくり」に取り組んでいます。昨年11月1、2日に高知県香美市で「四国山の日inこうち」が3会場で開催されました。「mamori」編集部も参加して、山の日に堪能しました。

## イベントニュースは風に乗って さあ、出かけよう。緑のPlazaへ。

### 高知の山へ出かけようカレンダー

- 里山の木を使ってバンダナを染めます。**  
●里山の木で染めてみよう  
時 4月5日(日) 9:00~16:00  
所 高知県森林総合センター 情報交流館  
定 10組(25名まで)  
対 小学4年~6年生と保護者  
料 一人700円  
※申込み締切りは3月29日  
問 高知県森林総合センター 情報交流館  
☎ 0887・52・0087
- こけ玉を野に咲く草花でつくります。**  
●雑草こけ玉教室  
時 4月18日(土) 13:30~15:00  
所 高知県立牧野植物園・本館アトリエ実習室  
講 講師:福川直人さん  
定 25名  
料 1,200円  
※受付は3月4日から。定員になり次第締切りです。  
問 高知県立牧野植物園  
☎ 088・882・2723  
参加費と別に入園料500円(高校生以下無料)が必要です。

- 年4回開催する植物観察と、植物についての講座です。**  
●植物学校・春  
時 4月26日(日) 9:00~12:00  
所 南喜ヶ峰森林公園  
講 講師:鴻上泰さん  
定 20名  
料 一般300円、小学生100円  
※定数になり次第締切りです。  
問 南喜ヶ峰森林公園  
☎ 0887・57・9007
- 竹トンボを作って距離と技を競い合う一日**  
●第7回高知県竹トンボ大会  
時 5月17日(日) 9:30~16:00  
所 道の駅やす  
対 小学生、一般  
料 一人200円  
※申込み締切りは5月13日  
問 高知県立月見山こどもの森  
☎ 0887・55・1682

●参加するのに予約が必要な場合や参加費が必要な場合がありますので、事前にご確認下さい。また、天候や主催者の都合で実施日時や内容が変更される場合もあります。ご了承願います。

### Post Card

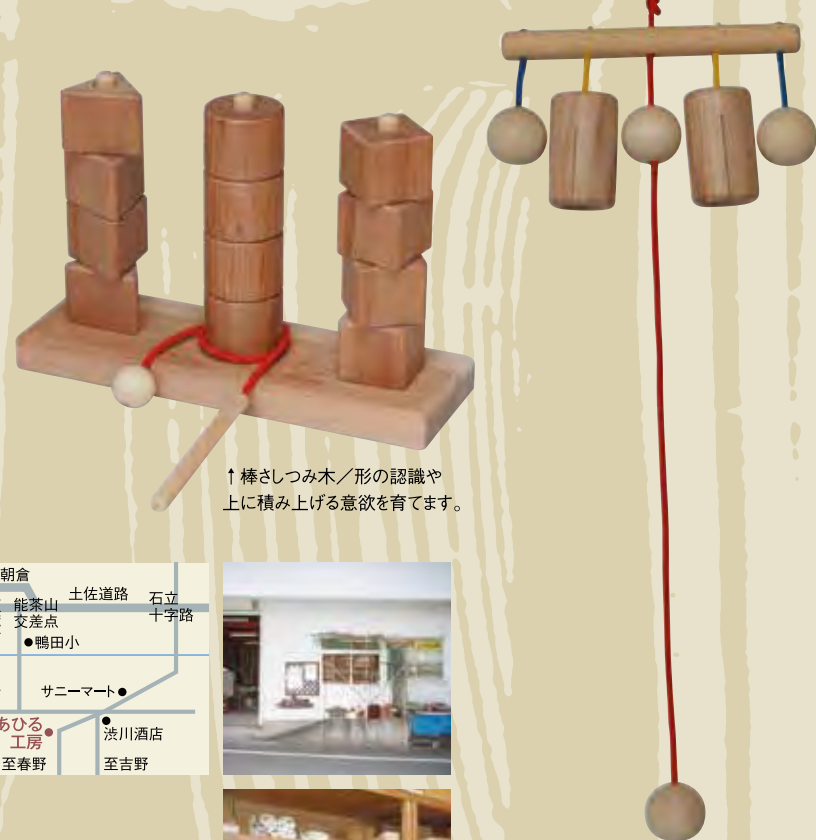
7 8 0 - 8 0 7 1

こちらに50円切手を貼って投函して下さい。

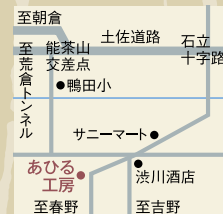
高知県高知市鴨部高町14-6  
「季刊高知」内  
mamori 編集部行

氏名	性別	年齢	歳
住所			
連絡先			
〒			
〒			
裏面の森林環境税に関するアンケートにご記入がない場合は、無効とさせていただきます。			





↑棒さしつみ木／形の認識や上に積み上げる意欲を育てます。



↑カラコロン／天井からベッドで寝ている乳児の手に吊ると、取っ手をもって動かし音を出します。高知県地場産業木のものデザインコンクール優秀賞作品です。



←ビコビコ／振ると「びこびこ」とかわいい音がなります。乳児用おしゃぶりにもなっています。



天狗のげた／通常2本の歯を1本にすることでバランス感覚を育てます。3歳ごろから使えます。



←引き車カタカタ／引っ張ると面白い動きをします。ハイハイした頃から遊べます。

←パズルボックス／つみ木を形の穴に入れて遊び、形の認識を育てます。

# 木のあひる暮らし。

## 子どもの創造性をたかめる木の遊具

あひる工房 高知市神田2402-5 ☎088-833-7568

「赤ちゃんや子どもの発達や成長について、勉強会に参加したり自分で調べるなど、理解することから始めました。それが私の木のおもちゃ作りの軸になっています。商品が売れる、売れないが基準では、作るものがブレてしまいますから。子どもは自然に発達していきますが、おもちゃはその発達のサポート役です。面白い、楽しいおもちゃには、自然と子どもたちの手が伸びていきます。いいおもちゃを作るためには作り手も努力がいるものですよ」

木の手づくりおもちゃ遊具の製作販売する「あひる工房」の代表、野中耕司さんは、手づくりの木のおもちゃにこだわって二十七年。サラリーマンから転職し、職業訓練校で木工を学び、そこからは独学で技術を修得したといいます。当時、自分の子どもが保育園に通っており、子どもが使うおもちゃはプラスチックが多く、保育園も安全安心の木のおもちゃを望んでいました。木のおも

ちゃの依頼、子どもとの触れ合い、ボランティアなどは、今でもライフワークになっています。「お店をはじめる時に、色々な木を見て、実際に触ってみました。安全性はもちろんですが、手に取った感触、丈夫で長持ちすること。それで加工しやすいという点でサクラの木にしました。ヒノキと比べても丈夫だし、細かい細工をしても壊れないですね。そう決めて最初にハトン車で三、四台まとめて購入しました」

あひる工房の木のおもちゃが良心的な金額なのは、こういう材料の仕入れによるものです。野中さんがコツコツと作り上げた作品を、親が子どもに与え、その子が大人になって自分の子どもに渡す、そんなおもちゃのバトンタッチもあるといいます。修理もお手のもの。また、オーダーメイドの家具や机、椅子、小物なども作っています。野中さんと話をし、人柄を知れば、ファンになること請け合いの「あひる工房」なのです。

# 森からの贈り物

## 【プレゼント】

本誌をご覧になって、ぜひ読者の皆様のご意見・ご感想をお聞かせ下さい。下記のアンケートにお答えいただいた方に、高知の森林の豊かさを伝える素敵なプレゼントをご用意いたしました。皆様からのご応募を、お待ちしております。応募締切りは平成21年3月27日(金) 必着です。

### ① 木の香温泉ペア無料宿泊券 (1組2名様)

寒風山の深き緑と、桑瀬川のせせらぎ、大いに囲まれたくつろぎの空間が「木の香温泉」です。お肌がつるつるになる優しい温泉と、本川の地元野菜をはじめ美味しい料理で癒しの一日をどうぞ。(利用期間は平成21年4月から12月迄です。満室など利用できない場合がありますので、必ず事前に予約をお願いします)



☎ 吾川郡いの町桑瀬225-16  
☎ 088-869-2300  
http://www.orienthotel.jp/konoka/

### ② 山荘梶ヶ森ペア無料宿泊券 (1組2名様)

標高1,400m、梶ヶ森県立自然公園の8合目のある「山荘梶ヶ森」は、西に石鎚山系、東に剣山系の山々が見え、朝の雲海、満点の星空など大自然と向き合う宿泊施設です。是非ご家族で山の神秘を味わって下さい。(利用期間は平成21年4月から12月迄です。満室など利用できない場合がありますので、必ず事前に予約をお願いします)



☎ 長岡郡大豊町佐賀山1248-3  
☎ 0887-74-0256  
http://www.kajigamori.com/



### ③ ウッドショップ森林 (須崎地区森林組合) 木の子ども椅子 (2名様)

須崎地区森林組合の組合員の方が作った、木の子ども椅子です。ウッドショップ森林では森林組合が作る広葉樹の作品をはじめ、多くの木の作品があります。  
☎ 須崎市安和925 ☎ 0889-43-2607  
http://www.susashin.com/



### ④ Design Studio Kira 写真立て (1名様)

デザイナーとして「東京ハンズ準大賞」や「オブジェ東京展入選」など数々の受賞歴を持つ吉良修さんが作った、シンプルで存在感がある写真立てです。  
☎ 吾川郡いの町3538 ☎ 088-893-3400  
http://homepage3.nifty.com/kira1008/



#### 応募条件は、アンケートの記入です。

下記の専用ハガキ、または「高知県森林部 森林政策課」のHP (<http://www.pref.kochi.jp/seisaku/seisaku>) から必要事項をご記入の上、ご応募下さい。締切りは3月27日(金) 必着です。抽選の結果につきましては、当選者の方のみ郵送、又はE-mailでご通知いたします。なお当落につきましては電話確認等はご遠慮願います。



QRコードから携帯サイトへアクセスできます。

#### 個人情報厳守します。

ご応募頂いた皆様の個人情報は、プレゼント提供会社、高知県森林政策課、「季刊高知」編集部が、抽選のために情報を共有することをご了承下さい。今回の応募に関する個人情報は適切に保管し、第三者への提供・開示は一切行いません。

#### 前号の読者プレゼント当選者

オーベルジュ土佐山「ペア宿泊券」 高知市 H.Tさん	あひる工房「棒さしつみ木」 吾川郡いの町 H.Mさん	四万十トラマ「四万十のき風呂」 愛媛県松山市 T.Tさん
工房ボレロ「木の子ども椅子」 高知市 Y.Yさん	高岡郡越知町 N.Sさん	安芸市 T.Kさん
土佐清水市 H.Kさん		高知市 W.Mさん

## アンケートにご協力下さい

- ①これまで「mamori」はご覧になりましたか。  
1.読みました 2.読んでいません
- ②高知県の「森林環境税」を知っていましたか。  
1.内容なども良く知っている 2.名前は知っているが内容はあまり知らない 3.知らない 4.その他( )
- ③本誌の内容はいかがでしたでしょうか。  
1.面白かった 2.普通 3.面白くなかった 理由( )
- ④今回の誌面で興味を持ったページはありますか。(複数可)  
1.特集 2.緑の遊び場 3.家族で楽しめる高知・山の施設 4.しんりんVOICE 5.イベント情報 6.読者プレゼント 7.木のある暮らし 8.緑の中のシエスタ 9.別のことを取り上げてほしい(例えば )
- ⑤本誌を読んで森林環境税の理解が深まりましたか。  
1.良く理解できた 2.少しは理解できた 3.よくわからない 4.その他( )
- ⑥本誌をどちらで入手しましたか。  
1.学校、幼・保育所などの教育機関 2.観光施設や道の駅、直販所など 3.図書館や郵便局、銀行、病院など公共施設 4.スーパーや飲食店、美容院など 5.その他( )
- ⑦高知県が行っている森林環境税や本誌について、ご感想やご意見を願います。

\*アンケートへのご協力、有難うございました。